

学科名	生物環境化学科							
科目名	公衆衛生学							
科目区分	専門科目		単位数	2	開講時期	3年後期		
必修・選択の別	選択必修							
担当者	神武洋二郎							
授業の到達目標(シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> ・公衆衛生学の概念と重要性について説明できる。 ・疫学の目的とその方法論の概略について説明できる。 ・主要な感染症とその病原体、食品衛生の保持について説明できる。 ・生活習慣病の現状と発症要因について説明できる。 ・社会保障の概念と種類について説明できる。 							
日程と内容	<p>9/15 : 導入講義（授業の進め方・成績評価法）、公衆衛生の概要と歴史 9/22 : 人口と保健統計-健康に関する各種統計- 9/29 : 疫学-疾病の発生要因・疫学調査法- 10/6 : 母子保健-概要と制度- 10/13 : 成人保健-メタボリックシンドローム・悪性新生物- 10/20 : 成人保健-心疾患・糖尿病- 10/27 : 高齢者保健-現況と制度- 11/17 : 中間まとめ 11/24 : 感染症-種類と予防-1 12/1 : 感染症-種類と予防-2 12/8 : 感染症-種類と予防-3 12/15 : 食品衛生-有害物質と食中毒 12/22 : 環境衛生-生活・地域・地球環境問題- 12/23 : 産業保健-職域の健康管理- 1/19 : 総合まとめ</p>							
成績評価基準	定期試験 臨時試験 報告書・レポート 課題 演習	70% 部外評価 プレゼンテーション 30%	実技 計	100%				
授業到達目標の達成度	<ul style="list-style-type: none"> ・公衆衛生学の概念と重要性について説明できる。達成した。 ・疫学の目的とその方法論の概略について説明できる。達成した。 ・主要な感染症とその病原体、食品衛生の保持について説明できる。達成した。 ・生活習慣病の現状と発症要因について説明できる。達成した。 ・社会保障の概念と種類について説明できる。未達成。 							
反省点	教科書改訂により、本年度は教科書が購入できなかったため、授業ではプリントを配布した。統計データがふるいものもあった。来年度は改訂版があるので、最新の統計データを引用したい。							
来年度の計画	もう少し最新の知見を紹介し、学生の自己学習を促す工夫を行う。							
授業評価アンケートに対するコメント	分かりやすかったというコメントが多かった。特に不満のコメント等はなかった。							
履修登録者数	87名	定期試験受験者数	87名	合格者数	84名	合格率 97%		